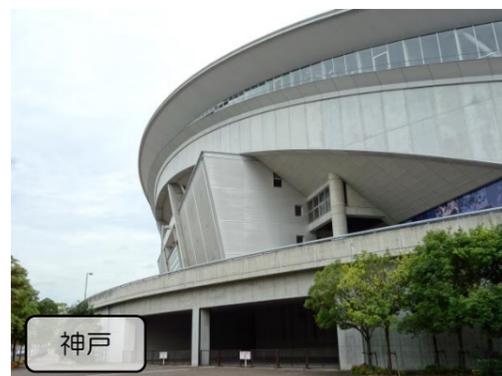


騒音対策について

類似スタジアムにおける対策事例

施設規模や立地条件が類似する「ノエピアスタジアム神戸」や「市立吹田サッカースタジアム」などにおける騒音対策の事例を調査しました。以下に、これら類似スタジアムにおける主な対策事例を紹介します。



神戸

遮音性の高いコンクリートの構造体



吹田



神戸

観客席全面を覆う「屋根」



吹田



神戸

防音扉

建物外周の防音性の高い扉



神戸

ゴール裏観客席の入れ替え  
(本来は北側が地元チーム用)



吹田

出典: ジャー(株)公式サイト

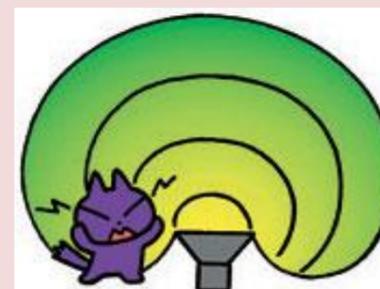


吹田

音が広がりにくい  
スピーカー

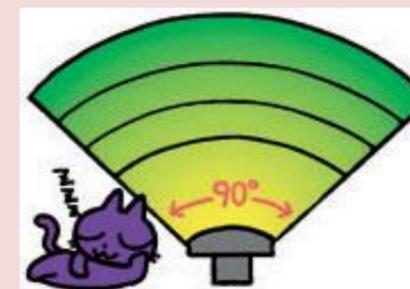
出典: TOA(株)カタログ

音がいろんな方向に広がってしまう



一般的なスピーカー

特定の方向にしか音が進んでいかない



音が広がりにくい  
スピーカー

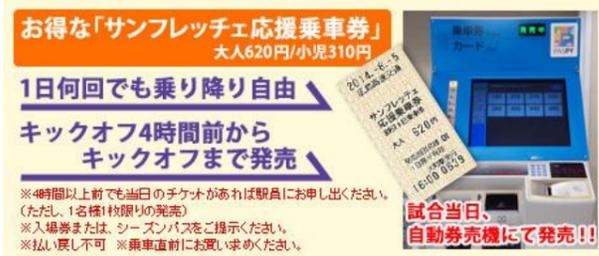
類似スタジアムにおける対策事例

市街地の中に位置し、近隣に住宅地があるスタジアムを中心に、渋滞、違法駐車対策の事例を調査しました。

以下に、これら類似スタジアムにおける主な対策事例を紹介します。

○公共交通の利用を促進

出典：(株)サンフレッチェ広島公式サイト



試合開催日に割引乗車券を発売  
(アストラムライン)

○一般観客用の駐車場を設けない

柏レイソル	日立柏サッカー場
清水エスパルス	IAI スタジアム日本平
大宮アルディージャ	NACK5 スタジアム大宮
セレッソ大阪	キンチョウスタジアム
浦和レッズ	埼玉スタジアム 2002
F C 東京	味の素スタジアム
横浜 F・マリノス	日産スタジアム

※J1の18チーム中、7チーム

○自動車での来場者への対応



警備員を配置し、路肩での停車を防止



警備員による自動車の誘導



近隣スーパーが、サッカー開催日に駐車場を有料化

来場手段等に係るアンケート調査結果（精査中）

■ 調査目的

中央公園広場にサッカースタジアムが整備された場合における交通面での影響等を検討するため、来場予定者が、どのような交通手段やルートを想定しているのかなどを調査した。

■ 調査方法

「試合開始は土日祝日の19時」、「スタジアム内には観客が利用可能な駐車場はない」という条件でアンケートを実施

楽天リサーチのモニター登録者（中国5県の居住者に限定）にアンケート調査への回答を依頼し、来場意向がある人の回答が2,000件集まるまで調査を継続した（調査期間：8月2日～7日）。

来場時の交通手段

JR・アストラムライン	25.4 %
JR+バス・路面電車	15.5 %
バス・路面電車	33.1 %
自動車	14.8 %
自転車・バイク	5.9 %
タクシー又は家族の送迎	1.6 %
徒歩	2.1 %
その他	1.7 %
合計	100.0 %

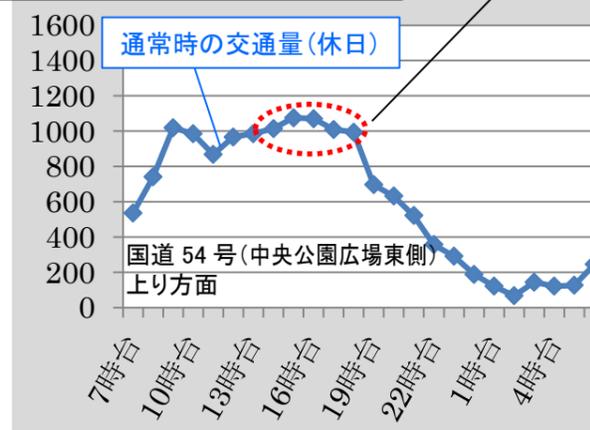
試合前後の行動

「都心部で買物・飲食等をする人の割合」

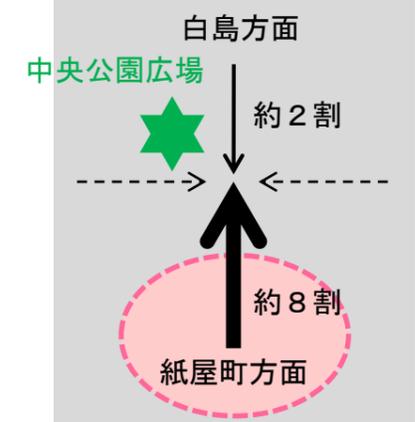
- ・ 試合開始前 83.6%
- ・ 試合終了後 62.6%

1.8万人入場時には、14時台から18時台において、通常時に比べて、それぞれ時間当たり30台～100台程度の増加が見込まれる。

来場時の自動車交通量（台/時）



歩行者の来場ルート



類似スタジアムにおける対応事例

市街地の中に位置し、近隣に住宅地があるスタジアムを中心に、地元居住環境への影響に配慮した対応の事例を調査しました。以下に、これら類似スタジアムにおける主な対応事例を紹介します。



磐田

住宅地への車の進入の抑制



磐田

民地内への車や観客の進入の抑制



神戸



磐田

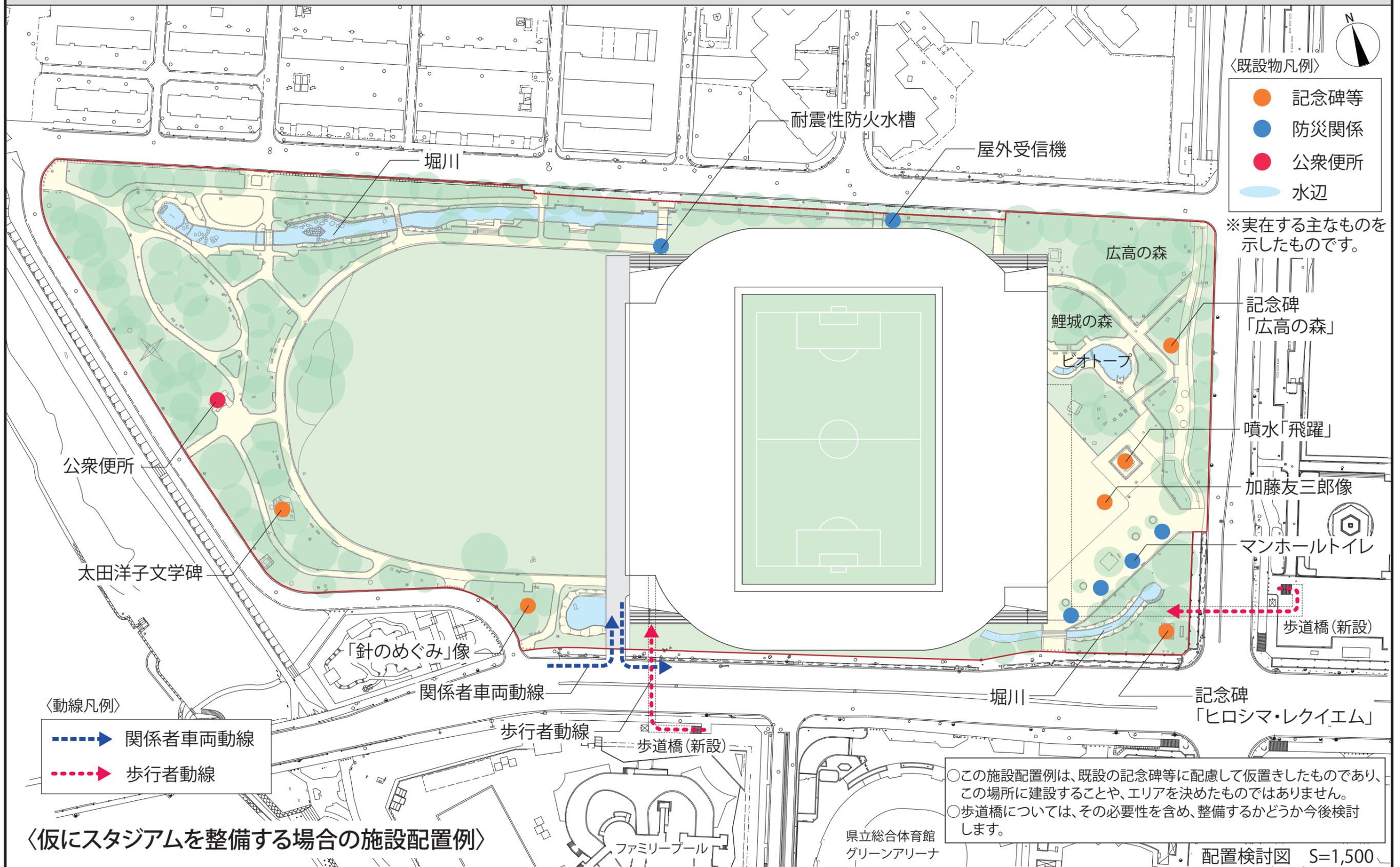
スタジアム外でのゴミの回収



大宮

スタッフによる観客の誘導

中央公園広場について



- 〈既設物凡例〉
- 記念碑等
  - 防災関係
  - 公衆便所
  - 水辺

※実在する主なものを示したものです。

- 記念碑「広高の森」
- 噴水「飛躍」
- 加藤友三郎像
- マンホールトイレ
- 歩道橋(新設)
- 記念碑「ヒロシマ・レクイエム」

- 〈動線凡例〉
- 関係者車両動線
  - 歩行者動線

〈仮にスタジアムを整備する場合の施設配置例〉

○この施設配置例は、既設の記念碑等に配慮して仮置きしたものであり、この場所に建設することや、エリアを決めたものではありません。  
○歩道橋については、その必要性を含め、整備するかどうか今後検討します。

配置検討図 S=1,500

類似スタジアムにおける対策事例

近年整備されたサッカースタジアムでは、スタジアム自体が地域の防災拠点として機能するよう、施設内に各種の防災機能が整備されています。以下に、これら類似スタジアムにおける主な対策事例を紹介します。

出典：神戸ウイングスタジアム広報誌「Domo ウイスタ」



防災倉庫



耐震性貯水槽



大型映像装置

出典：パナソニック(株)公式サイト



非常用電源（太陽光発電）



スタジアムの屋根に、高出力の太陽電池パネル2100枚を設置し、約500kWの発電容量を確保(一般家庭の消費電力量の約110世帯分)。

主に参考にしたスタジアム

「ノエビスタジアム神戸」(兵庫県神戸市兵庫区(御崎公園内))

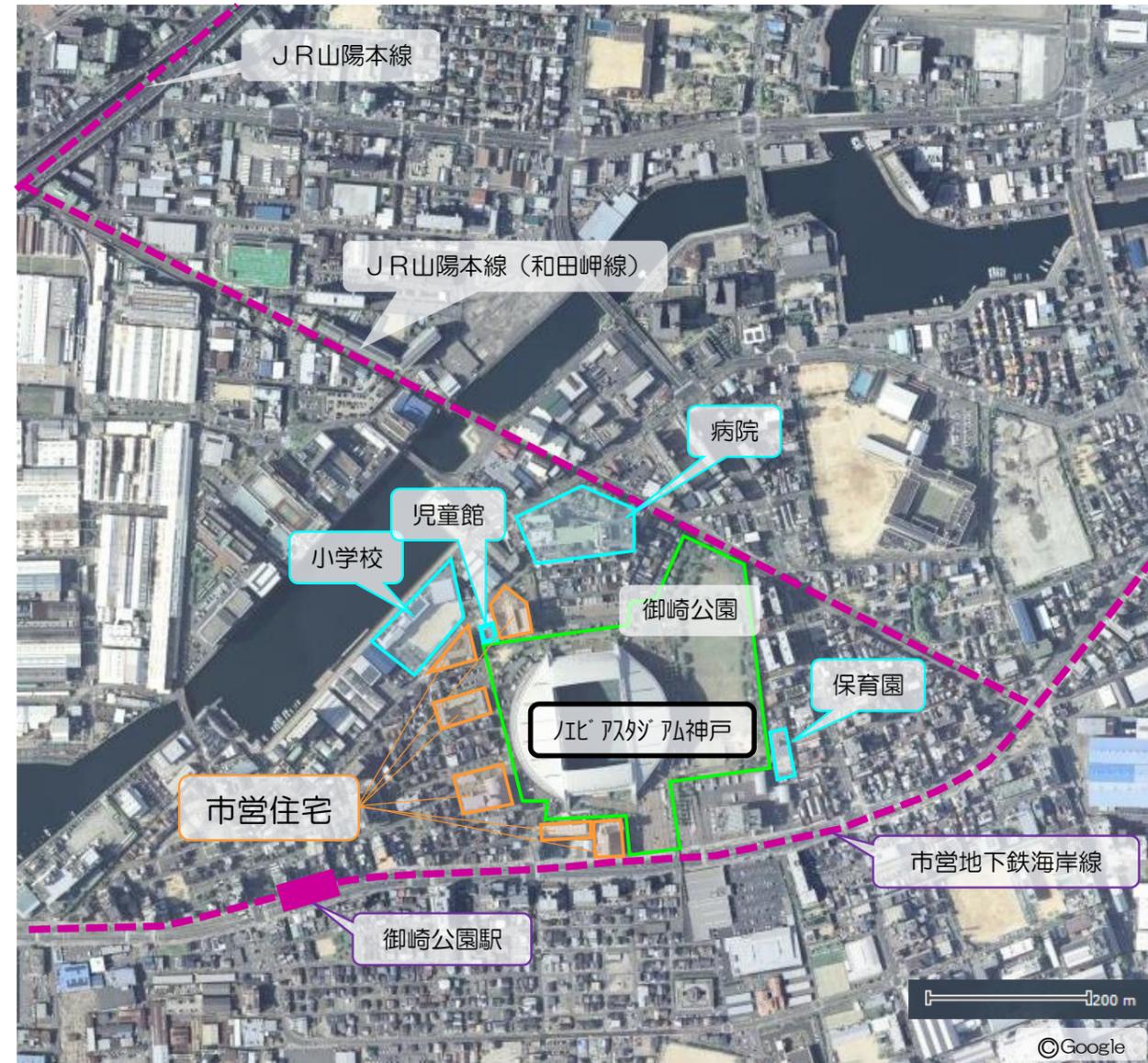
このサッカースタジアムは、神戸市のJR三ノ宮駅から南西に約5kmの都市公園内に位置し、比較的都心に近い場所となっています。

2002年のサッカーワールドカップ・日韓大会に合わせて2001年に建設され、同大会の試合会場になりました。

周囲には、複数の市営住宅や、小学校、保育園、病院などの施設が立ち並んでおり、また、地下鉄の駅が近い(御崎公園駅から徒歩5分)など、本市の中央公園広場の周辺環境と似通っているのが特徴です。



出典：いつもNAVIホームページ



「市立吹田サッカースタジアム」(大阪府吹田市(万博記念公園内))

このサッカースタジアムは、大阪市のJR大阪駅から北北東に約11kmの大規模な公園の中に、2015年に建設されました。

この公園は、1970年の大阪万国博覧会の会場の跡地につくられた公園で、近くには万博の象徴であった「太陽の塔」が今もなおその存在感を示しています。

周辺環境は、高速道路の交差する交通の要所に近接する一方で、南側には住宅街が広がっています。



出典：毎日新聞ホームページ

